

ミッションフェローセッション 「AI は敵か味方か？」

日時 : 2017年8月30日 9:15 - 12:10

場所 : MES2017 中京大学名古屋キャンパス 学術棟 (1号館) 3F 清明ホール

名古屋市昭和区八事本町 101-2 <http://www.chukyo-u.ac.jp/information/facility/g1.html>

参加資格: MES2017 参加登録者はどなたでも! **★学生は無料で聴講できます!!★**

第1部: 09:15 - 11:30 特別講演 x 3件 (発表: 35分、質疑応答: 5分)

第2部: 11:30 - 12:10 パネルディスカッション『ロボット・AI・自動運転...未来技術について語り合おう!』

パネラー (順不同, 敬称略):



日本IBM 細川 浩二



本田技研 坂上 義秋



早稲田大 橋本 周司



スタジオぬえ 森田 繁
(アニメ脚本・特殊設定)



長瀬産業 折井 靖光



秋田銀/JIEP 土門 孝彰

ミッションフェロー参加者:



富山県立大 島山 友行(進行役)



物材機構 重藤 暁津



日立製作所 河喜多 心哉

アニメ関係者も招き、様々な角度から未来技術について語り合います! 聴講者の皆様も、是非、議論に参加下さい!!

森田 繁氏情報 → <https://twitter.com/siglic> <https://ja-jp.facebook.com/shigeru.morita.3>

<特別講演>

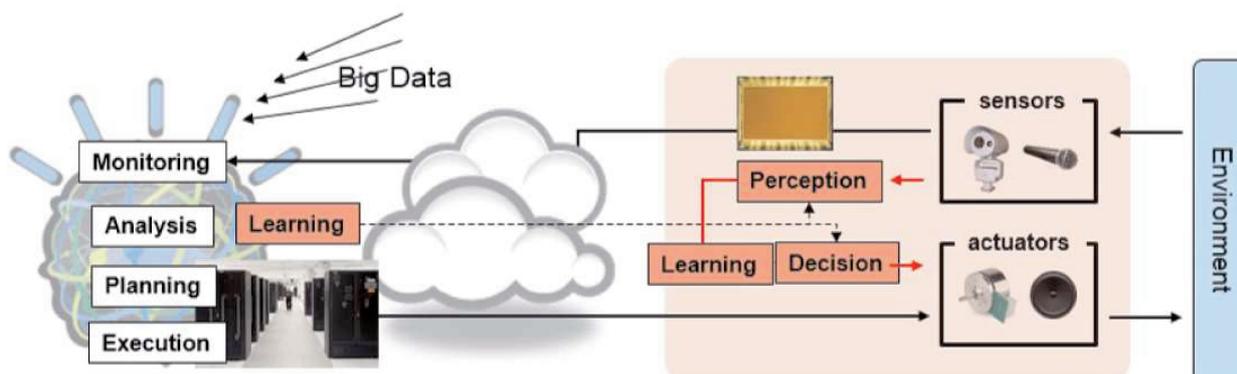
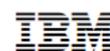
09:15-09:55 講演① 『コグニティブ・コンピューティングに向けた HW 技術』

日本アイ・ビー・エム(株) 細川 浩二 氏

近年、ソーシャル・メディアやセンサー等から生み出される非構造化データ量が、急激に増加しています。こうしたビッグデータを取り扱う、新たなシステムをコグニティブ・コンピューティングと呼んでいます。

IBM基礎研究所では、ニューロ・サイエンスにヒントを得た、非ノイマン型のスケーラブルで効率的な、新たなHWアーキテクチャの研究に取り組んでいます。

今回、そのいくつかを紹介します。



*都合により、1件目の講演内容がJPCAショー・学会誌等の予告から変更となりました。ご了承ください。

09:55-10:35 講演② 『 知能化モビリティ：ホンダの取組と将来 』 (株)本田技術研究所 坂上 義秋 氏

1986年に基礎研究所を設立し、自動運転、歩行ロボット、航空機、GT、1/2軽量車のプロジェクトがスタートしました。2016年までに、研究開発の結果はなかなか商品や事業へ繋がりませんでした。いくつかの技術を振り返り、「基礎研究が商品へ繋がらないのは何故か？どうすれば繋がるのか？また、キーとなる技術は何か？」特に、知能化モビリティの代表であるロボット・自動運転の領域における技術動向と今後についてホンダの取り組みを紹介します。



10:40-11:20 講演③ 『 ヒューマノイドからガンダムまで 』 早稲田大学 橋本 周司 氏

早稲田大学では1970年代から人間型ロボットの研究を行ってきました。その歴史を振り返ると、計測制御、信号処理、人工知能、感性情報と研究分野が拡大してきたことが判ります。また、最近さらにはパワーが中心的な課題として加わりました。ここでは、早稲田大学のロボット研究について外観するとともに、等身大ガンダムを作るプロジェクト「ガンダム・グローバル・チャレンジ (GGC)」を紹介します。このプロジェクトは通常のロボット工学の守備範囲を超えたところに解を見つけなければならないという意味で正にチャレンジなのです。ガンダム・グローバル・チャレンジ <http://gundam-challenge.com/>

早稲田大学のロボット研究の歴史

